

北千葉道路・スカイアクセスと印旛沼の自然

8月13日、北千葉道路インフォメーションセンターにおいて、川本さんはじめ、市民ネット・社民・無所属会派の県議と県政担当2名の計6名で北千葉道路、スカイアクセスと印旛沼のヨシ原の造成について説明を伺い、ヨシ原の育成現場を見学しました。

【北千葉道路事業】この道路が整備されることにより、首都圏北部や県西地域と成田国際空港間との（全長約43km）アクセス強化と沿線地域相互の交流・連携の促進、物流の効率化など地域の活性化に寄与する。（北千葉道路ニュース Vol.2 より）



213億円の県費を使ったスカイアクセス、さらに、北千葉道路。千葉県民に本当に必要なのでしょうか。印旛沼の生物も心配です。

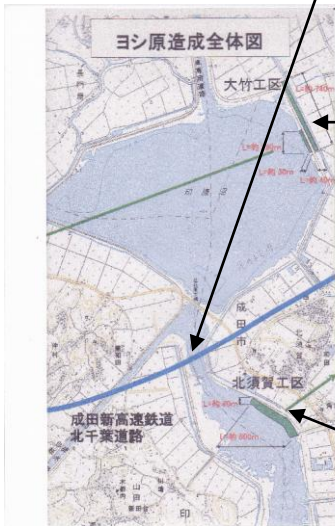


区間	4.2 km	5.6 km	3.7 km
工費	270億円	289億円	200億円

* この工事における 千葉県の平成22年度の予算は、33億円です。

【印旛沼のヨシ原造成】スカイアクセスと北千葉道路が北印旛沼を渡河することにより、その周辺に生息する湿地性希少鳥類に影響を与える可能性があることから、その代償措置として2箇所の新たなヨシ原の整備を行っている。

（北千葉道路ニュース Vol.2 より）



ヨシ原の造成地：2地区の工費 約6億円

人の背丈以上に育ったヨシ



印旛沼での確認が難しくなったサンカノゴイ

北千葉道路インフォメーションセンター職員の話しを聞く川本さんをはじめ市民ネット・社民・無所属会派の県議



コウノトリ目サギ科 絶滅危惧1B類（環境省レッドリスト）

警戒心の強いサンカノゴイが、近くに鉄道、道路が通る場所で安心して棲めるのでしょうか。他の野鳥でもそんなに簡単に人間が指定した場所で都合よく生息できるのでしょうか。

